

テーマ

地域資源の活用

伝統工芸の脱「業界常識」で挑む「KANAYA」ブランドの創造

高岡銅器協同組合

JAPANブランドの取組みに際し、従来からの銅器製品にとられない、金属铸件にデザインや機能を付加し、現在のライフスタイルにマッチした「KANAYA」製品を創造した。

背景と目的

高岡銅器の長期凋落が続くなかで、新しく就任した理事長が組合員の負託に応え、政府が推進する「JAPANブランド」育成事業を活用し、高岡銅器の再生に取り組んだ。問屋として新しい時代に対応する流通産業への販路開拓とグローバル展開を目指した。

事業・活動の内容

組合での事業でありながら、意欲の高い13社が事業資金を負担し、組合の資金を全く使用せず、平成22年JAPANブランド育成事業に取り組んだ。そのため、意思決定・

取組みのスピードアップが図られ、理事長のリーダーシップが発揮しやすい態勢ができた。

JAPANブランドの取組みに際し、デザイナーをプロデューサーとして招聘し、従来からの銅製品にとられない、金属铸件にデザインや機能を付加し、現在のライフスタイルにマッチした「KANAYA」製品を創造した。

フランス・パリで開かれた世界最高峰のインテリア国際見本市「メゾン・エ・オブジェ」に出展し、これを機に、国内外から多くの引合いを受けた。

活動の成果

家具を取り扱う国内大手業者との取引が開始されたほか、エジプトの建築設計事務所にホテル向けの商品を供給や、プレステージブランドメーカーからの引合いが見られた。

プロデューサーが提案する金属以外のアクリル、木、ガラスなどの素材を組み合わせて、サイドテーブルや、铸件に着色したトレー等の開発・生産に取り組むため、分業化された業界内部でのものづくりという「高岡銅器の常識」を打ち破り、多くの関係者が高く評価する金属の表面処理技術を守り、そして、活かしながら、現代のライフスタイルにマッチする製品を生みだした。



▲ インテリア国際見本市「メゾン・エ・オブジェ」出展



▲ IFFT ビッグサイト出展

高岡銅器協同組合

住所：〒933-0909

富山県高岡市開発本町1-1

設立：昭和30年4月

出資金：68千円

電話：0766-23-8210

URL：<http://www.doukikumiai.com/>

業種：銅器又は金物類の卸売業

会員：66人

組合専従者：1人